

修学旅行通信・第4号 (2018.12.5)

文責：西村卓也（2学年主任）

修学旅行2日目を迎えました！ 宿舎出発時の気温は7℃、そして昨晚の到着時には分からなかった周囲の自然の風景から、日常とは違った環境にいることを再認識できた2日目の始まりでした。本日の午前中は福島県内で震災に関する体験・研修を行いました。

			
<p>今日も朝からモリモリ（2杯以上…）食べています！</p>	<p>男子宿舎。お宿の方と最後の記念撮影。</p>	<p>女子宿舎。お宿の方は長崎出身の方でした。</p>	<p>離村式。お宿の方にお礼を述べます。</p>
			
<p>「道の駅季の里天栄」。地域の特産物に触れます。</p>	<p>放射性物質測定。食の安全性への取組を学びました。</p>	<p>炊き出し体験。災害時の紙食器についての説明です。</p>	<p>炊き出し体験では、天栄村の特産物を使用しました。</p>
			
<p>現地の方の説明を聞きながら、炊事を行います。</p>	<p>厳しい寒さの中でしたが、一生懸命準備しました。</p>	<p>「天栄米」。地域のブランド米です。</p>	<p>すいとん汁の完成です。五臓六腑に染み渡りました！</p>
			
<p>協力してつぎ分けます。積極的に動いています。</p>	<p>熱々のすいとん汁。味付けも絶妙です！</p>	<p>職員団も美味しくいただきました。</p>	<p>すいとん汁やおにぎり、BBQと、充実した昼食でした。</p>

昼食を終え、福島県を後にしました。民宿や炊き出し体験で触れ合った方々は、それぞれ表現は違いますが、「(震災を経て)これから何をすべきか」について、私たちに熱く語っていただきました。今回の「一期一会」の機会を大切に、今後の人生に活かして行って欲しいと思います。

午後からは東京都に移動し、劇団四季の「ライオンキング」を観劇します。